

# 防災・安全ニュース

VOL. 9

## 危機管理課

2024年1月号

電話65-1282

新年あけましておめでとうございます。また、令和6年能登半島地震で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本年も防災と安全に関する情報を発信して参りますので、よろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・防災とボランティアの日
- ・ブラックアイスバーンに注意
- ・エルニーニョ現象／ラニーニャ現象

### 防災とボランティアの日

平成7年（西暦1995年）1月17日05:46に起こった阪神・淡路大震災では、全国から学生を中心とした多くの一般市民がボランティア活動に参加し、復興に向けての大きな力となりました。このことに由来して、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」（防災とボランティア週間：1月15日～21日）として制定（閣議決定）しています。制定の狙いは、防災、減災、災害対応のためのボランティア活動に多くの人が取り組み、「公助」と連携した「自助」と「共助」の取り組みがより広まることです。

下の図は、阪神・淡路大震災でのライフラインの被害と復旧の状況です。能登半島地震で報道されていますとおり、大きな地震に見舞われると蛇口をひねっても水は出ません。街の灯りは消え、トイレも使えません。今の快適で安全な生活を支えるライフラインは一瞬で途絶えることを想像し、自助の備えもよろしくお願ひします。



※ 神戸新聞

## ブラックアイスバーンに注意

昨年1月26日の新居浜市の最低気温は、 $-3.8^{\circ}\text{C}$ で1月として過去最低の記録でした。このような時に車の運転で気を付けていただきたいのが、ブラックアイスバーンです。これは、ご存知の方も多いと思いますが、路面が薄く凍結し、アスファルトの色（黒）が透けて見えている、一見、水に濡れた路面に見える凍結路です。

ブラックアイスバーンと濡れた路面は、見た目がほとんど変わりませんが、急ブレーキを踏んだ時の制動距離が下の写真のように50m以上違います。



路面が濡れているように見えて前夜の冷え込みが氷点下だった場合などは、例として風が吹きさらして凍結しやすい橋の上やトンネルの出入り口、道路の日陰の部分に注意し、市街地では、ブレーキや発進が繰り返される

※ J A F の実験結果に加筆

る交差点の停止線手前などで路面が磨かれ滑りやすくなっており、併せて注意が必要です。具体的な運転時の着意は、次のとおりです。

- ① 滑ることを前提とした慎重な運転をする。
- ② ブレーキの使用は、タイヤをロックさせないように数回に分け、いつもよりも早めに踏み始める。
- ③ 発進、停止、カーブでの「急」のつく動作をしない。

## エルニーニョ現象／ラニーニャ現象

昨年12月11日に気象庁から発表された「エルニーニョ監視速報 (No.375)」によると、昨年春から続いているエルニーニョ現象が今後、冬の間は継続する可能性が高い(90%)とされています。

エルニーニョ現象は、「太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなり、その状態が1年程度続く現象」です。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象と呼ばれて、それぞれ数年おきに発生するそうです。

気象庁の資料によると、エルニーニョ現象発生時の日本の天候の特徴は、統計的に西日本の平均気温が「並みか高い傾向」とされて

います。ただし、強い寒気が入ってくると雪の可能性もありますので、タイヤチェーンの準備など冬の備えもよろしくをお願いします。

エルニーニョ／ラニーニャ現象とは

→ <https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/elnino/learning/faq/whatiselnino.html>

エルニーニョ／ラニーニャの語源とは

→ <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/data/elnino/learning/faq/faq4.html#1>

#### 【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

防災・安全ニュースをご覧の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。今年辰年。十二支のうち唯一空想上の生き物で、水を司る神様だそうです。竜は、あごの下に1枚だけ逆さに生えた逆鱗（げきりん）があり、この逆鱗に触られるのが大嫌いで、触られると激高するといわれています。今年の出水期には特に、水神様の逆鱗に触れないよう注意したいと思います。（N.O）